

平成 29 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

神奈川県教育委員会

第 1 次試験 7 月 9 日(日)
 受付期間 4 月 25 日(火)～ 5 月 15 日(月)
 インターネット申込み … 5 月 15 日(月)午後 5 時まで(注 P 7 参照)
 郵送申込み …………… 5 月 15 日(月)の消印まで有効(持参不可)
 提出先 下 231-8509 横浜市中区日本大通 33
 神奈川県教育委員会教育局行政部 教職員人事課 教職員採用グループ
 連絡先 電話 045-210-8190 (直通)
 ホームページアドレス <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7272/>

1 趣旨

この選考試験は、平成 30 年度採用予定の横浜市、川崎市及び相模原市(以下「県内政令指定都市」という。)を除く神奈川県内の市町村立の小学校、中学校、特別支援学校及び神奈川県立の高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員採用候補者を決定するために実施するものです(県内政令指定都市の採用試験とは異なります)。

2 募集対象・募集人員等

校 種 等	教 科 ・ 人 員 等 ※1					
小 学 校 ※2 ※3	小学校全科 365 人程度					
中 学 校 ※2 ※3 ※4	国 語	35 人程度	音 楽	7 人程度	技 術	8 人程度
	社 会	26 人程度	美 術	16 人程度	家 庭	8 人程度
	数 学	28 人程度	保健体育	27 人程度	英 語	30 人程度
	理 科	30 人程度			合 計	215 人程度
高 等 学 校 ※4	国 語	60 人程度	保健体育	45 人程度		
	公 民	10 人程度	家 庭	8 人程度		
	地理歴史 (日本史、世界史、地理)	50 人程度	英 語	80 人程度		
	数 学	50 人程度	工 業 (建設、機械、電気)	6 人程度		
	情 報 ※5	5 人程度	商 業	2 人程度		
	理 科	45 人程度	農 業	2 人程度		
	(物理、化学、生物)		水 産(機関・航海)※6	1 人程度		
音 楽	5 人程度					
美 術	6 人程度	合 計	375 人程度			
特別支援学校 ※3 ※7 ※8	120 人程度					
養護教諭 ※3 ※4 ※8	(配属先) 小学校、中学校、県立高等学校、県立中等教育学校、 県立特別支援学校、市立特別支援学校 25 人程度					
身体障害者特別選考 ※9	上記の全ての校種等・教科を対象に一般選考・特別選考①～⑥とは別に選考をします。(なお、募集人員は、全体数に含まれます。) 10 人程度					

- ※1 募集人員には、別に実施する大学推薦要項に基づく選考による募集人員も含まれます。
- ※2 小学校、中学校で合格した人の中から若干名は、県立特別支援学校での採用となります。ただし、特別選考①②⑥(P 2 参照)で受験する場合は対象外です。
- ※3 市立特別支援学校へは、小学校、中学校、特別支援学校及び養護教諭で合格した人から必要に応じて配属します。
- ※4 県立中等教育学校へは、中学校、高等学校及び養護教諭で合格した人から必要に応じて配属します。
- ※5 高等学校情報の受験には、当該教科の免許状のほか、当該教科以外の高等学校教員普通免許状が必要です(平成 30 年 3 月 31 日までに取得見込みも可)。
- ※6 高等学校水産(機関・航海)の受験には、水産、商船、工業のいずれかの免許で受験が可能です。ただし、免許状が工業の場合は、併せて第一級総合無線通信士又は第一級陸上無線技術士の資格が必要です(免許状、資格はともに平成 30 年 3 月 31 日までに取得見込みも可)。なお、特別選考③ウの詳細は、P10 をご覧ください。
- ※7 特別支援学校の受験には、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状が必要です(平成 30 年 3 月 31 日までに取得見込みも可)。ただし、特別選考①②での受験を希望し一定の条件を満たす場合は、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状の所有の有無を問いません(P 2、P10 参照)。
- ※8 特別支援学校教諭免許状を「現職教員等が在職年数と単位修得をもって教育職員検定により取得」する場合及び養護教諭二種免許状を「保健師免許を基礎資格とし、必要な単位修得をもって取得」する場合は、免許状を申請する教育委員会にあらかじめ免許取得条件等を確認しておいてください。
- ※9 身体に障害のある人で身体障害者特別選考以外の受験をされる人にも受験の際の配慮をします(P11 参照)。
- ※ 特別支援学校自立活動担当及び特別支援学校自立教科(理療)担当の選考試験は、本実施要項とは別の実施要項で行いますので、必ず上記ホームページアドレスからご確認ください。

校 種 等	募 集 職 種 ・ 人 員 等	
特別支援学校	(配属先) 県立特別支援学校 ・ 自立活動担当(言語聴覚士、臨床心理士) ・ 自立教科(理療)担当	各若干名 若干名

3 選考区分と受験資格

選考区分には、「一般選考」、「特別選考①～⑥」及び「身体障害者特別選考」があり、次の【共通受験資格】と【個別受験資格】の両方を満たすことによって選考区分が選択できます。

【共通受験資格】

(1) 昭和 33 年 4 月 2 日以降に出生した人
(2) 受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成 30 年 3 月 31 日までに取得見込みの人(「特別選考①②の一部及び③ウ」を除く)
(3) 地方公務員法第 16 条及び学校教育法第 9 条に規定する欠格事項に該当しない人 [欠格事項] ア 成年被後見人又は被保佐人 イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者 ウ 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者 エ 免許状失効又は取上げの処分を受け、当該失効又は処分の日から 3 年を経過しない者 オ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

【個別受験資格】

選考区分	資格要件等
一般選考	【共通受験資格】の要件
特別選考	① 教職経験者 国公立学校において、正規教員又は臨時的任用職員等(常勤と同様の勤務形態での任用)として、平成 25 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの 4 年間に通算 1 年以上(休職、育児休業等の期間を除く)の勤務経験(ただし、受験する校種等・教科の免許状を所有し、かつ同一の教職経験に限る。) なお、神奈川県内公立特別支援学校(県内政令指定都市立の学校を含む)の臨時的任用職員としての勤務経験に基づき特別支援学校を受験する場合、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状の所有の有無を問わない。(※1)
	② 臨時的任用職員経験者C 平成 28 年度実施の第 2 次試験における不合格者のうち、「不合格(臨時的任用職員候補者)」の通知を受け、平成 29 年 4 月に神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を除く)の臨時的任用職員として任用されていること(ただし、任用された校種の受験に限る。) なお、特別支援学校を受験する場合に、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状の所有の有無を問わない。
	③ 社会人経験者 アイウのいずれか 1 つを選択する ア 法人格を有する民間企業、官公庁(原則として神奈川県教育委員会を除く)等で常勤社員・職員(教員を除く)として平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの 5 年間に通算 3 年以上の勤務経験 (※1) イ 青年海外協力隊等、海外での 2 年以上の国際貢献活動経験 ウ 教員普通免許状を所有していない人で、高等学校水産(機関・航海)を受験する場合は、別に定める特別免許状授与に関する基準を満たす実務経験 (※1)
	④ スポーツ・芸術実績者 ○ 中学校・高等学校(音楽、美術、保健体育)対象 ○ 国際的又は全国的規模の競技会、コンクール、展覧会等における高等学校以降の特別に優秀な実績(平成 21 年 4 月 1 日以降の実績に限る) (※1)
	⑤ 英語資格所有者 ○ 中学校・高等学校(英語)対象 ○ TOEIC(IP テストは除く)730 点以上 TOEFL-iBT(インターネット版 TOEFL)80 点以上 実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)準 1 級以上のいずれか 1 つのスコアや級の取得者(出願時に要件を満たし、かつ第 1 次試験時に有効なものに限る) (※1)
	⑥ かながわティーチャーズカレッジ(チャレンジコース)修了者 ○ 小学校・特別支援学校対象 ○ 「かながわティーチャーズカレッジ(チャレンジコース)」の平成 28 年度修了者(以下「カレッジ修了者」という。)
	身体障害者特別選考

- ※ 身体障害者特別選考以外では、選考区分ごとの募集人員を設定していません。
- ※1 特別選考①、③ア及びウの詳細はP10を、④、⑤の詳細は、P11をご覧ください。
- ※2 身体障害者特別選考の詳細は、P11をご覧ください。

4 選考試験日、会場及び内容

(1) 第1次試験

ア 試験日 平成29年7月9日(日)

イ 集合時刻(時間厳守) 受験票に記載してお知らせします。

※ 集合時刻までに試験会場の建物に入場していない場合は受験ができません。

ウ 会場(予定)

- 鎌倉女子大学 大船キャンパス ○國學院大學 たまプラーザキャンパス
- 日本大学 生物資源科学部 ○神奈川県立小田原高等学校 ○神奈川県立神奈川総合産業高等学校
- 神奈川県立川崎高等学校 ○神奈川県立相模原中等教育学校
- ※ 6月下旬に発行される受験票で会場を指定しますが、災害等やむを得ない都合により上記の会場を変更する場合があります。その際は、ホームページでお知らせします。
- ※ 会場への直接の問合せはご遠慮ください。また、下見をされる際は、敷地内への立入はご遠慮ください。
- なお、いずれの会場も自家用車の乗り入れは禁止します。自家用車でのご送迎についてもご遠慮ください。

エ 試験の種類等

試験の種類 選考区分		筆記試験		論文試験	面接試験
		教科専門	一般教養・ 教職専門	論文※ (第2次試験)	個人面接B
一般選考		○	○	○	
特別選考	① 教職経験者	○	免除	○	
	② 臨時的任用職員経験者C	免除	免除	○	○
	③ 社会人経験者 アイウ	○	免除	○	
	④ スポーツ・芸術実績者	免除	○	○	
	⑤ 英語資格所有者	免除	○	○	
	⑥ カレッジ修了者	○	免除	○	
身体障害者特別選考		○	○	○	

※ 論文試験は第2次試験ですが、第1次試験受験者全員に実施し、第1次試験合格者のみ採点します。

オ 筆記試験、論文試験及び面接試験の内容

筆記試験	教科専門試験 (60分)	小学校	小学校全科及び外国語活動に関する専門試験	マークシートによる解答
		中学校	受験する教科(科目)に関する専門試験 ※ 高等学校公民については、公民の教科全般にわたって出題されます。 ※ 高等学校地理歴史(日本史、世界史、地理)、理科(物理、化学、生物)及び工業(建設、機械、電気)については、教科全般についても出題されます。	
		高等学校	※ 高等学校農業については、園芸を中心として、農業の教科全般にわたって出題されます。 ※ 高等学校水産(機関・航海)については、機関・航海を中心として、水産の教科全般にわたって出題されます。 ※ 英語は、リスニングの設問を含みます。	
		特別支援学校	特別支援教育に関する専門試験	
	養護教諭	養護に関する専門試験		
一般教養・ 教職専門試験 (60分)	人文・社会・自然科学等に関する一般教養試験 教育原理・教育心理・教育関係法規等に関する教職専門試験			

論文試験	論文 (60分)	受験者全員	校種・養護教諭ごとのテーマによる論文(800字程度)
面接試験	個人面接B (10分)	特別選考②	それぞれの経験を踏まえた質問を中心とした面接

※ 論文・個人面接Bの評価の観点は、6月上旬にホームページで公開する予定です。

(2) 第2次試験

第2次試験は第1次試験の合格者について次のとおり実施します。

ア 面接試験等

(7) 試験日 8月7日(月)～18日(金)

※ 該当する期間内の1日(土曜日及び日曜日を除く)を予定しています。

(イ) 集合時刻(時間厳守) 第1次試験合格者に通知します。

※ 集合時刻までに試験会場の建物に入場していない場合は受験ができません。

(ロ) 会場 第1次試験合格者に通知します。

(ハ) 内容 ○論文試験(第1次試験日に実施) ○模擬授業(協議を含む) ○個人面接A

(ニ) 模擬授業(協議を含む)について

a 指定されたテーマに沿った1単位時間の授業計画を立て、導入から展開にかけての最初の10分間(準備、片付けを含む)を模擬授業として行います。

※ 指導案(A4用紙1枚の予定)は、試験当日に提出していただきます。

※ 授業は教室で行います。着替えなどはできません。また、会場の電源は使用できません。なお、危険物(火気、劇薬等)の持込は禁止します。

b 協議は、最初に各受験者から自己評価を発表し、その後は、司会を決めずに受験者同士で、模擬授業とその自己評価及び指定されたテーマに沿って協議を行います。

※ 模擬授業(協議を含む)のテーマは6月下旬に、模擬授業(協議を含む)及び個人面接Aの評価の観点は7月下旬に、それぞれホームページで公開する予定です。

イ 実技試験

実施日及び内容は、次のとおりです(予定)。会場等の詳細は、第1次試験合格者に通知します。

校種・教科、実施日	実技試験の内容
中学校・高等学校(音楽) 8月21日(月)	<p>「歌唱」(楽譜を見て歌うことも可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コールユーブンゲン第1巻第36章「終止」までの中から、当日指定される1曲を歌います(無伴奏・母音唱)。 <p>「ピアノ演奏」(暗譜演奏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の4曲のうち1曲を選択し、ピアノ演奏を行います(繰り返し省略)。 <ol style="list-style-type: none"> ① M. Clementi ソナチネ ト長調 Op. 36- No. 2 全曲 ② F. Chopin ワルツ「告別」 変イ長調 Op. 69- 1 ③ F. List 「愛の夢」 Op. 2- No. 3 ④ C. Debussy 版画より「グラナダの夕ぐれ」 <p>「ピアノ以外の楽器による独奏」(暗譜演奏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管楽器、弦楽器、打楽器のうち、持ち込み可能な楽器とします(電子楽器は使用できません。また、自動車での持ち込みはできません)。 ・ 曲は自由曲1曲とします(楽曲の一部でも可とします)。 ・ 演奏する曲の審査用楽譜を2部用意し、当日持参してください。 <p>「弾き歌い」(楽譜を見て歌うことも可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の6曲のうち1曲を選択し、ピアノでの弾き歌いを行います(④、⑤及び⑥については原語又は日本語訳詞のいずれも可とします)。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「赤とんぼ」 三木 露風 作詞/山田 耕筰 作曲 ② 「花」 武島 羽衣 作詞/滝 廉太郎 作曲 ③ 「この道」 北原 白秋 作詞/山田 耕筰 作曲 ④ 「O sole mio」 G. Capurro 作詞/E. di Capua 作曲 ⑤ 「An die Musik」 F. Schöber 作詞/F. Schubert 作曲 ⑥ 「Nel cor piu non mi sento」 (うつろな心) 作詞者不詳/G. Paisiello 作曲 ・ 調については自由とします。 ・ 使用する伴奏譜については、①～③は中学校又は高等学校の教科書に掲載されているもの、④～⑥は自由とします。

校種・教科、実施日	実 技 試 験 の 内 容
中学校・高等学校(美術) 8月21日(月)	「素描」鉛筆によるデッサン 「デザイン」与えられたテーマについて、ポスターカラー等を用いて表現 「立体」与えられたテーマについて、配付された紙等を用いて立体的に構成
中学校・高等学校(保健体育) 8月25日(金)	「器械運動」 マット運動 「陸上競技」 ハードル走 「ダンス」 創作ダンスと現代的なリズムのダンス 「水 泳」 平泳ぎで25mを泳ぎ、折り返してクロールで25mを泳ぐ 「球 技」 バレーボール・バスケットボール・サッカー・ハンドボール ・ソフトボール・テニス(ソフトテニスも可)・卓球・バドミントンの中から1つを選択 「武 道」 柔道・剣道から1つを選択
中学校(技術) 8月23日(水)	「ものづくり」に関する基礎的実技
中学校・高等学校(家庭) 8月21日(月)	「食物」に関する基礎的実技
中学校・高等学校(英語) 8月23日(水)又は24日(木)	英語コミュニケーション能力試験(英語教育や英語教授法等についての意欲、知識、技能を含む)

5 選考結果の発表

(1) 日時(予定)

第1次試験 平成29年 7月28日(金) 午前10時
第2次試験 平成29年10月 2日(月) 午前10時

(2) 場所

神奈川県庁新庁舎2階 県政情報センター

※ 選考の結果は、第1次試験、第2次試験とも、各日程の試験を全て受験した受験者全員に、合否にかかわらず郵送で通知します。

なお、いかなる理由があっても、選考試験を欠席、途中退出した場合は合否判定の対象とせず、選考結果の通知はしません。

※ 第1次試験、第2次試験とも、結果についての電話による問合せには応じません。

※ 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験のホームページでも発表日の午前10時から1週間、合格者の受験番号を掲示します。なお、システムの都合上、掲示開始時刻に誤差が生じる場合があります。

※ 合格発表において、自己の情報(校種等・教科、受験番号)を掲載してほしくない人は、7月14日(金)までに、その旨を記した自筆の文書をP1の提出先に郵送してください。

※ 平成29年度実施神奈川県公立学校教員採用選考試験の小学校区分と特別支援学校区分において、第2次試験不合格者のうち、成績が特に上位の人を「臨時的任用職員候補者特別名簿」に登載し、平成30年度、優先的に臨時的任用職員として任用します。これにより任用された人を対象に、平成30年度実施の選考試験において、筆記試験のうち一般教養・教職専門を免除する特別選考を実施する予定です。対象者には、第2次試験選考結果の発表時にお知らせします。(これまでの「特別選考②臨時的任用職員経験者C」と異なり、対象を小学校区分と特別支援学校区分の全選考に拡大します。)

6 試験結果の開示

神奈川県個人情報保護条例第 25 条の規定に基づき、神奈川県庁新庁舎 2 階県政情報センターにて、本人確認の上、口頭の請求により試験結果の開示を行います。(受付時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く) ただし、発表日当日は、午前 10 時から。)※

試験	開示請求ができる人	開示内容	開示期間
第 1 次試験	第 1 次試験受験者(本人に限る)	試験の種類ごとの得点	合格発表日から 1 か月間
第 2 次試験	第 2 次試験受験者(本人に限る)	試験の種類ごとの得点	合格発表日から 1 か月間

同条例第 19 条に基づいて、自己情報の開示請求(請求書による請求)もできます。次のホームページにある自己情報開示制度をご覧ください。<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6103/p972387.html>

※ 電話による問合せには応じません。

※ 開示を希望する人は、受験票と運転免許証等(原則、写真付きの身分証明書)を必ず持参してください。

7 健康審査

採用にあたっては、教職員健康審査会で健康審査を行い、「適」の判定を受けることが必要です。健康上の理由により、その職に耐えられないと認められたときは、採用されません。

8 採用

- (1) 採用候補者名簿に登載された人は、平成 30 年 4 月 1 日付けで採用の予定です。
- (2) 受験資格の要件が満たされない場合や教員としての適格性を欠く事実が明らかになった場合は、採用候補者名簿から削除され採用されません。
- (3) 個人申請や免許更新制等により平成 30 年 3 月 31 日までに該当する校種等・教科の教員普通免許状の取得・更新等ができない場合は、採用されません。

特に免許状更新講習の受講期間に入った人は、講習の受講や各種申請手続を期限までに終了し、都道府県教育委員会の確認を受けてください。詳しくは、非常勤講師を含む現職教員の人は勤務地、それ以外の人は居住地の都道府県教育委員会へ問い合わせてください。(神奈川県の場合は、県教育委員会教育局行政部教職員企画課免許グループ(電話 045-210-8140))

- (4) 採用候補者名簿登載者が、大学院への進学(下記※の条件あり)のため又は大学院在学者が修学継続のために、大学院の課程修了後の採用を希望する場合は、本人が神奈川県教育委員会にその旨の申出を行い、許可を受けた場合に限り採用期日を延長できるものとします。

※進学のために採用期日の延長が可能大学院	教職大学院又は文部科学省令大学院設置基準に基づく専門分野が「教育学・保育学関係」の専攻の通学制大学院
----------------------	--

採用期日延長の主な条件は、次のとおりです。

- ア 延長期間の上限は、大学院への進学者は 2 年間、大学院の修学継続者は 1 年間
 - イ 受験校種等・教科に関する教員免許状を平成 30 年 3 月 31 日までに取得していること
 - ウ 大学院への進学又は修学継続により、受験校種等・教科に関する教員専修免許状を取得すること
 - エ 大学院への進学の場合は、平成 29 年 12 月 28 日までに合格通知書等、進学を確認できる書類を提出すること
- (5) 高等学校水産(機関・航海)の採用候補者名簿登載者が「商船」の教員免許を取得見込みで大学卒業後引き続き乗船実習科に進学し、三級海技士免許を取得する場合は、採用期日を最大 1 年間延長するものとします。
 - (6) 日本国籍を有しない人は、任用期限を付さない常勤講師としての採用となります。

9 採用試験に向けた志願者説明会

実施日	会場	実施日	会場
①平成 29 年 4 月 15 日(土)	西南学院大学	⑥平成 29 年 4 月 16 日(日)	兵庫教育大学
②平成 29 年 4 月 15 日(土)	東北福祉大学	⑦平成 29 年 4 月 21 日(金)	横浜市開港記念会館
③平成 29 年 4 月 15 日(土)	新潟大学	⑧平成 29 年 4 月 29 日(土)	横浜市戸塚公会堂
④平成 29 年 4 月 15 日(土)	徳島文理大学	⑨平成 29 年 5 月 3 日(水)	小田原市民会館
⑤平成 29 年 4 月 16 日(日)	名古屋市立大学	⑩平成 29 年 5 月 6 日(土)	藤沢市湘南台文化センター

○上記実施時間は、午後 2 時～午後 3 時 30 分。ただし、①は、午後 1 時～午後 2 時 30 分、②は、午後 4 時～午後 5 時 30 分、⑦は、午後 7 時～午後 8 時 30 分を予定。

○参加申込みは、神奈川県教育委員会のホームページからのインターネットによる申込みのみです。

○定員等については、神奈川県教育委員会ホームページでお知らせします。

※ ホームページアドレス <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7272/>

※ 申込み完了後に e-kanagawa 電子申請から届くメールは、保存又は印刷しておいてください。

10 申込手続

受験申込みができるのは、一人につき、一つの選考区分・校種等・教科のみです。重複して受験申込みをされた場合は、最初に申し込まれた有効なものを受理します。

なお、申込みが受理された後の校種等・教科、実技試験種目の変更はできません。

申込方法は、原則としてインターネットによる申込みとします。ただし、【特別選考④スポーツ・芸術実績者】は、郵送による申込みのみとします(P8参照)。

(1) インターネット(e-kanagawa 電子申請)による申込み

ア 受付期間等

平成 29 年 4 月 25 日(火)午前 10 時から平成 29 年 5 月 15 日(月)午後 5 時まで

- ・ インターネット申込受付期間内に到達し、内容に不備がなく受理された申込みを有効とします。
- ・ e-kanagawa 電子申請の利用にあたっては、必ず e-kanagawa 電子申請の「はじめて利用する方へ」のページ(<http://shinsei.e-kanagawa.lg.jp/kanagawa/www/guide/howtouse.html>)を確認してください。
- ・ e-kanagawa 電子申請の操作方法に関する問合せは、e-kanagawa コールセンターで承ります。
(ア) 電話：0120-22-0642(午前 9 時～午後 5 時(土・日・祝日を除く))
(イ) ファクシミリ：0120-60-5392(原則 24 時間)
(ウ) Web フォーム：<https://shinsei.e-kanagawa.lg.jp/kanagawa/uketsuke/dform.do?acs=qa>
(原則 24 時間)

※ (イ)、(ウ)について営業日外に到着したものは、翌営業日以降の回答になります。

- ・ 使用されるパソコン関連機器(以下、パソコン等という。)や通信回線上の障害等によるトラブルについては、一切責任を負いません。
- ・ システム機器の保守点検等により、システムを停止する場合がありますので、ご注意ください。
- ・ パソコン等の動作環境については、e-kanagawa 電子申請の「動作環境について」のページ(<http://shinsei.e-kanagawa.lg.jp/kanagawa/www/guide/environment.html>)を確認してください。

必ず、神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験のホームページ(※)で要件や手順を確認しながら申込みを行ってください。 ※ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7272/>

受験申込みは、後日、受験票及び受験者確認票を印刷する必要がありますので、必ず印刷が可能な環境にあるパソコン等から申込みを行ってください。携帯電話、スマートフォンからの申込みはできません。

入力の途中で前の画面に戻るときは、ブラウザの「←」(戻る)ボタンは押さずに、画面内の「戻る」ボタンを押してください。操作されない時間が 30 分を超えるとセキュリティ保護のためタイムアウトになります。入力内容は保持されず、再操作が必要となりますのでご注意ください。

イ 申込方法

(ア) 申請者 ID の登録

- 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験のホームページから e-kanagawa 電子申請の入力フォームにアクセスし、手順に従って申請者 ID を登録してください。
- 登録した「申請者 ID」及び「パスワード」は、受験票及び受験者確認票を取り出すときや申請状況を照会するときなどに必要となりますので、メモを取るなどして、必ず控えてください。

《メモ》

申請者 ID	パスワード
--------	-------

(イ) 受験申込み

- 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験のホームページから e-kanagawa 電子申請の入力フォームにアクセスし、手順に従って申込みを行ってください。
- 特別選考区分の場合は、あらかじめ選考区分に応じた申告書等(P8～9参照)をダウンロードし、必要事項を記入して申告書を完成させ、パソコン上に保存しておいてから、手続を開始してください。添付ファイルのファイル名は、変更しないでください。
- 申請の送信後に表示される「到達確認画面」の「到達番号」及び「問合せ番号」は、申請状況を照会するときなどに必要となりますので、内容を確認のうえ「印刷」又は「保存」をするか、メモを取るなどして、必ず控えてください。

申込みは、入力後、送信まで行わないと完了しません。

送信まで行わなかったために申込みが完了していない場合は、受験することができません。

《メモ》

到達番号	問合せ番号
------	-------

※ 申込記入事項が正しくないことが明らかになった場合は、合格を取り消すことがありますので、正確に入力してください。

ウ 受験票及び受験者確認票について

(ア) 受験票及び受験者確認票は、6月下旬に e-kanagawa 電子申請に登録されます。登録完了は、電子メールでお知らせしますので、申請者 I D 等を使って e-kanagawa 電子申請にログインして受験票等をダウンロードし、必ず PDF ファイルで、白色・無地の A 4 用紙に印刷してください。6月29日(木)までに電子メールが届かない場合は、P1 の連絡先までご連絡ください。

(イ) 印刷した受験票と受験者確認票は、切り取り線で切り離し、両方に同じ写真を貼り、必要事項を記入して、第1次試験当日に持参してください。受験者確認票は、第1次試験当日に回収します。

受験票及び受験者確認票に貼る写真は、平成29年4月1日以降に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身、脱帽、正面向きのもので、裏面に氏名、校種等・教科を書いてから貼ってください。また、第2次試験で同一の写真がさらに2枚(計4枚)必要になりますので用意しておいてください(各自保管)。

(2) 郵送による申込み

申込みは、【特別選考④スポーツ・芸術実績者】を除き、原則としてインターネットによる申込みですが、やむを得ず郵送で申込みをする人は、次の要領に従って申込みをしてください。

ア 受付期間

平成29年4月25日(火)から平成29年5月15日(月)まで (平成29年5月15日の消印まで有効)

イ 受験申込書等の記入について

受験申込書の記入の際には、申込書裏面の「受験申込書記入要領」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。

なお、申告書は、必ず所定の用紙をホームページからダウンロードし、A 4 用紙に印刷したものを使ってください。また、申告書は、選考区分によって種類が異なりますのでご注意ください。

ウ 提出書類等について

一般選考は共通提出書類等(a～d)のみ、特別選考は選考区分により、共通提出書類等に加えて選考区分に応じた申告書等(e～)が必要です。

※ 必ず、提出書類一式の写しをとり、本人控え用として保管しておいてください。

共通提出書類等

- a 「平成29年度実施神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験受験申込書」(記入要領は、申込書裏面)
- b 必要事項を記入した上記 a 「受験申込書」の写し 1部
- ※ A 4 用紙で等倍率の複写をしてください。
- c 「受験者カード」(記入例は、P12)
- d 「返信用封筒」(受験票送付用)
 - ・ 【長形3号】規格(120mm×235mm)
 - ・ 82円分の郵便切手貼付
 - ・ 受験票の送付先(郵便番号、住所及び氏名)を明記

選考区分		選考区分に応じた申告書等
一般選考		(共通提出書類等のみ)
特別選考	① 教職経験者	e 「職歴申告書」 (※1)

選考区分		選考区分に応じた申告書等	
特別 選考	② 臨時的任用職員経験者C	e 「臨時的任用職員経験者特別選考C申告書」	
	③ 社会人経験者	ア 民間企業、官公庁等勤務経験者	e 「職歴申告書」 (※1)
		イ 青年海外協力隊等派遣経験者	e 「国際貢献活動申告書」 (※1)
		ウ 教員普通免許状を所有していない実務経験者(高等学校水産(機関・航海))	e 「実務に関する申告書」 (※1)
	④ スポーツ・芸術実績者	e 「実績申告書」 f 「実績を証明する書類等」の写し ・ 「実績を証明する書類等」とは、大会又はコンクール名、本人の氏名、順位(芸術分野の賞の相当順位)がわかる賞状や新聞、雑誌等です。本人が試合等に出場したことがわかるものを提出してください。なお、団体成績の場合は、本人が出場した記録が必要になります。(登録メンバー表のみでは不可。) ・ 写しは、A4用紙の大きさに調整してください。 ※ 証明書類等の原本は、第1次試験当日に持参してください。 g 「返信用封筒」(資格審査結果送付用) ・ 【長形3号】規格(120mm×235mm) ・ 82円分の郵便切手貼付 ・ 資格審査結果の送付先(郵便番号、住所及び氏名)を明記 ※ d「返信用封筒」(受験票送付用)とは別に必要です。(計2通)	
	⑤ 英語資格所有者	e 「英語資格申告書」 ※ 証明書の原本は、第1次試験当日に持参してください。	
	⑥ カレッジ修了者	e 「チャレンジコース修了申告書」	
身体障害者特別選考		e 「障害の程度に関する申告書」 ※ 身体障害者手帳は、第1次試験当日に持参してください。	

※1 申込時に申告書を添付し、合格後(10月下旬以降)に申告の内容を証明する書類を提出していただきます。

エ 申込方法

該当書類(共通提出書類等及び選考区分に応じた申告書等の両方)を【角形2号】規格(240mm×332mm)の封筒に入れ、P1の提出先まで郵送してください(持参不可)。

封筒の表に「受験申込書在中」、「校種等・教科」名及び「選考区分」名を赤字で大きく、はっきりと記入してください。「(簡易)書留」によらない郵便の事故等については、一切考慮しません。

※ 受験申込みに必要な書類等に不備や不足がある場合は、受付できません。申込記入事項が正しくないことが明らかになった場合は、合格を取り消すことがありますので、正確に記入してください。

また、申込みが受理された後の校種等・教科、実技試験種目の変更はできません。なお、この試験において提出された書類等は一切返却しません。

オ 受験票及び受験者確認票の発送

受験票及び受験者確認票は、6月下旬にd「返信用封筒」(受験票送付用)により郵送します。6月29日(木)までに受験票が届かない場合は、P1の連絡先までご連絡ください。

なお、受験票と受験者確認票は、切り取り線で切り離し、両方に同じ写真を貼り、必要事項を記入して、第1次試験当日に持参してください。受験者確認票は、第1次試験当日に回収します。

受験票及び受験者確認票に貼る写真は、平成29年4月1日以降に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身、脱帽、正面向きのもので、裏面に氏名、校種等・教科を書いてから貼ってください。また、第2次試験で同一の写真がさらに2枚(計4枚)必要になりますので用意しておいてください(各自保管)。

11 各特別選考についての詳細

各特別選考の資格要件については、次の事項に注意してください。

なお、特別選考③ウを除き、勤務経験の期間は月単位で通算します。例えば、1日でも任用のあった月は1月の勤務経験として取り扱います。ただし、同じ月の中で前の任用の終期と次の任用の始期がある場合は1月として取り扱い、重複して通算しません。

(1) 特別選考①(教職経験者)

ア 国公立学校とは、学校教育法第2条第2項に規定する学校です。日本人学校等の在外教育施設は含まれません。

イ 「受験する校種等・教科の免許状を所有し、かつ同一の教職経験」とは、受験しようとする校種等・教科の免許状を取得した後に、その免許状を根拠にして勤務した教職経験のことを指しています。

ウ 小学校、中学校、高等学校の特別支援学級での教職経験は、それぞれ小学校、中学校、高等学校の各教科の教職経験として取り扱います。

エ 特別支援学校教諭免許状以外の免許状を取得した後に、特別支援学校で勤務した経験がある場合は、小学部での経験は小学校の、中学部・高等部での各教科の経験はそれぞれ中学校・高等学校の各教科の教職経験として取り扱います。

オ 神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を含む)の臨時的任用職員としての勤務経験に基づき特別支援学校を受験する場合

(ア) 特別支援学校での勤務経験については、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状の所有の有無を問いません(ただし、教科専門試験は「特別支援学校」の受験となります)。

なお、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状を所有していない人には、採用後、できるだけ早い時期に特別支援学校教諭免許状を取得していただきます。

(イ) 特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状を取得した後の小学校、中学校、高等学校の特別支援学級での教職経験は、特別支援学校での教職経験として取り扱います。

(2) 特別選考③ア(法人格を有する民間企業、官公庁等(以下「企業等」という。)に勤務経験を有する社会人経験者)

ア 「常勤社員・職員」とは、企業等において、フルタイム勤務で、月給制(年俸制)により給料を受けている社員・職員を想定しています。非常勤勤務若しくは日給又は時間給の場合は該当しません。

イ 学校教育法第2条第2項に規定する学校における教員としての勤務経験は除きます。

ウ 合格後(10月下旬以降)に、所定の様式で職歴証明書を提出していただきます。受験申込時に申告した内容に満たない証明書が提出され、資格要件を満たさないと判断された場合は、採用されません。あらかじめ、証明を受ける企業等から資格要件を満たす内容の証明書が発行されることを確認しておいてください。

エ 勤務していた企業等が統廃合等により無くなっている場合は、その組織を引き継いでいる企業等から証明を受けられることを確認しておいてください。証明書を発行できる企業等がない場合は、採用されません。資格要件は証明書をもって確認しますので、年金の加入記録等は受け付けません。

(3) 特別選考③ウ(受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有していない社会人経験者 高等学校水産(機関・航海))

ア 資格要件等

平成29年3月31日現在、三級海技士(機関)又は三級海技士(航海)の資格を有し、その資格に基づく実務経験が3年以上あり、教育職員免許法第5条第3項による特別免許状(※)の申請が可能な人

なお、既に他の校種等・教科の教員普通免許状を所有している場合は、免許更新制等により平成30年3月31日までにその所有する教員免許状の更新等ができないと採用されませんので、ご注意ください。

※ 特別免許状は、教育職員検定に合格した人に授与されるもので、教育職員検定とは、受検者の人物、学力、実務及び身体の各項目について書類審査を行い、可否を判定するものです(教育職員免許法第6条第1項)。

イ その他

教員普通免許状を所有していない人で、次の(ア)又は(イ)の条件に該当する人は、教員普通免許状を申請できる可能性がありますので、県教育委員会教育局行政部教職員企画課免許グループ(電話 045-210-8140)までご相談ください。

(ア) 三級海技士(機関)又は三級海技士(航海)の資格を所有し、かつ、船舶に関し実務経験が5年以上

(イ) 第一級総合無線通信士又は第一級陸上無線技術士の資格を所有し、かつ、無線通信に関し実務経験が3年以上

(4) 特別選考④(スポーツ・芸術実績者)

音楽、美術、保健体育の教科に関する、高等学校以降の特別に優秀な実績(平成21年4月1日以降の実績に限る)があり、学校教育活動に活かされると神奈川県教育委員会が認める人は、この選考区分で受験ができます。

「特別に優秀な実績」とは、スポーツ分野では下記の種目で、全国大会の個人成績3位以上又は団体成績2位以上、芸術分野では、全国規模のコンクール等で個人成績3位(相当)以上又は団体成績1位(相当)以上を目安にしています。資格要件を満たすか否かについては、事前に審査を行います。

なお、種目(部門)、大会(コンクール)規模、参加人数等によって、資格に該当しない場合は、一般選考での受験となります。審査の結果は、郵送で通知します(6月中旬頃)。

※ 証明書類等の原本は、第1次試験当日に持参してください。

※ スポーツ分野の対象種目

陸上競技、水泳、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、体操、新体操、ラグビー、バドミントン、サッカー、ハンドボール、相撲、卓球、ソフトボール、剣道、柔道、登山、弓道、テニス、ボート、ボクシング、レスリング、ホッケー、ヨット、フェンシング、スケート、スキー、ウエイトリフティング、アーチェリー、自転車、空手道、アメリカンフットボール、ライフル射撃、ダンス、少林寺拳法、カヌー、なぎなた、ボウリング、野球、アイスホッケー

(5) 特別選考⑤(英語資格所有者)

スコアや級については、出願時に要件を満たし、かつ第1次試験時に有効なものに限ります。

※証明書の原本は、第1次試験当日に持参してください。

(6) 身体障害者特別選考について

神奈川県では全国に先駆け、障害の有無にかかわらず、様々な課題を抱えた子どもたち一人ひとりのニーズに、適切に対応していくことを学校教育の根幹にすえた「支援教育」の推進に取り組んできました。

身体に障害のある人が教員として教壇に立つことは、「支援教育」をさらに進めることのみならず、子どもたちに対する極めて高い教育的効果が期待されることから、身体に障害のある人を教員として積極的に採用するための特別選考を行います。

ア 募集対象・募集人員等

本年度募集の全ての校種等・教科を対象とし、10人程度(募集人員の全体数に含まれる)。

イ 試験の特例

「一般選考」と同様の試験を行いますが、選考は「一般選考」とは別に行います。試験の実施にあたっては、必要に応じて点字、拡大文字、手話通訳者の準備や会場の配慮をします。また、障害の種類や程度によって実技試験の一部を免除し、代わりに他の試験を行うなどの対応も行います。

なお、身体に障害のある人であっても身体障害者特別選考の選考区分での受験を希望しない人については、他の選考区分での受験も可能です。この場合についても身体障害者特別選考と同様の配慮をしますので、申込みと同時に要項P1の連絡先へ連絡してください。

ウ 受験資格

P2、3のとおりです。

※身体障害者手帳は、第1次試験当日に持参してください。

エ 採用後の配置

障害の種類や程度を勘案して配置します。

受験者カード記入例

29 受験者カード (郵送申込用)

・記入例に従って、太線の枠内のみ鉛筆で楷書でいねいに記入してください。

C#		校種等・教科				※受験番号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
G	A	1	0	1	2				

下欄の校種等・教科コード表から、4桁の数字で記入してください。

氏名(漢字で記入)			
姓		名	
11	20	21	30
神	奈	川	一平

漢字で姓名をそれぞれ記入してください。

氏名(カタカナで記入。濁点(゜)、半濁点(゜)は1字として扱う)										
姓	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
	カ	ナ	カ	ノ	ク					

性別は、男は「M」、女は「F」のいずれかをアルファベット(大文字)で記入してください。
生年月日は、西暦で記入してください。
(例)平成7年9月2日生まれの場合は、「19950902」となります。
和暦と西暦の対応は、下欄の表を参考にしてください。

名	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
	イ	ツ	ヘ	。	イ										

性別	生年月日														
	年(西暦)				月		日								
	56	57	58	59	60	61	62	63	64						
M	1	9	9	5	0	9	0	2							

最終卒業(修了)学校名を受験者カード裏面の学校コード表から選び、コード番号を5桁の記号で記入してください。
学校コード表に該当する学校名がない場合は、「99999」と記入してください。
また、学歴が複雑で最終卒業学校が特定できない場合も「99999」と記入してください。

最終学校の学校欄は次の1~9の区分から1つ選び、数字で記入してください。
1 教員養成課程のある国立大学の教育系学部
2 国立大学(1を除く)
3 公立大学
4 私立大学
5 高等学校(大検・高認含む)
6 短期大学
7 指定教員養成機関等
8 大学院等(専攻科含む)
9 その他

最終学校コード						最終学校名			
65	66	67	68	69	70				
A	0	0	3	4		横浜国立大学			

最終卒業(修了)学校名を記入してください。

最終学校(7)	卒業(8)	卒業(修了)年月						都道府県			
		年(西暦)		月							
		106	107	108	109	110	111	112	113	114	115
1	2	2	0	1	8	0	3	1	4		

最終学校の卒業欄は次の1~2のどちらかの数字を記入してください。
1 卒業(修了)
2 卒業(修了)見込

卒業(修了)年月を西暦で記入してください。
(例)平成30年3月見込 → 「201803」

下欄の都道府県コード表から、自宅のある都道府県名コードを2桁の数字で記入してください。大学等で実家を離れている場合には、実家のある都道府県名コードを記入してください。

校種等	教科	コード
小学校	小学校全科	1012
	国語	2102
中学校	社会	2202
	数学	2302
	理科	2402
	音楽	2512
	美術	2522
	保健体育	2542
	技術	2552
	家庭	2562
英語	2602	
特別支援学校		4011
養護教諭		5042

校種等	教科	コード
高等学校	国語	3101
	公民	3221
	地歴(日本史)	3251
	地歴(世界史)	3261
	地歴(地理)	3271
	数学	3301
	情報	3311
	理科(物理)	3411
	理科(化学)	3421
	理科(生物)	3431
	音楽	3511
	美術	3521
	保健体育	3541
	家庭	3561
	英語	3601
工業(建設)	3751	
工業(機械)	3771	
工業(電気)	3781	
商業	3811	
農業	3841	
水産(機関・航海)	3891	

都道府県名	コード
北海道	01
青森県	02
岩手県	03
宮城県	04
秋田県	05
山形県	06
福島県	07
茨城県	08
栃木県	09
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24

都道府県名	コード
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47
外国	99

和暦	西暦
昭和64年	1989年
平成元年	1989年
平成2年	1990年
平成3年	1991年
平成4年	1992年
平成5年	1993年
平成6年	1994年
平成7年	1995年
平成8年	1996年
平成9年	1997年
平成10年	1998年
平成11年	1999年
平成12年	2000年
平成13年	2001年
平成14年	2002年
平成15年	2003年
平成16年	2004年
平成17年	2005年
平成18年	2006年
平成19年	2007年
平成20年	2008年
平成21年	2009年
平成22年	2010年
平成23年	2011年
平成24年	2012年
平成25年	2013年
平成26年	2014年
平成27年	2015年
平成28年	2016年
平成29年	2017年